

かなくらすん こんぞうじ  
**金蔵山金蔵寺**

高野山真言宗の寺であり、本尊は薬師如来。通称「かなくらすん」と呼ばれ、人里離れた山中に建つ寺です。梅、桜、紅葉など四季折々の風物が楽しみ、多可八景・多可十景・兵庫県観光百選にも選出されています。特に庫裏の東縁からの眺望は絶景です。

その昔、笠形山に6cmほどの黄金仏薬師如来が出現し、その後、熊野権現の導きによって金蔵山へ移られ、大木の上におられたところ、御仏のお告げをうけたという大峰山の役行者が和銅年間に開山したとされています。行基菩薩が天平2年(730)に登山された時に、自ら等身大の仏像を刻まれ、黄金仏を胸に納めて本堂を建てられました。その事に由来し金蔵山金蔵寺になったと伝わります。

奥の院には役行者尊、行基菩薩、慈覚大師の像が祀っており、境内には安政年間に再建された本堂、鐘楼をはじめ弁財天堂、こもり堂、権現堂、八角堂、庫裏、千年杉、かなくらす四国88カ所など見所があります。中でも約150年前に本堂に奉納された絵馬は少しも色あせずとても綺麗です。境内には護摩道場もあり、毎年春秋の彼岸には先達修験者が集まり、柴灯護摩供が行われます。

かのこじんじゃ  
**鹿子神社**

春の山桜・秋の紅葉と四季折々に彩られる笠形山。その谷々からの清流に育まれた大屋の里に、「鹿子神社」は、その緑に包まれて鎮守として存在しています。石積の玉垣に囲まれた神域には、大杉が林立し、厳粛な気分させます。鳥居をくぐると、唐破風の庇付き長床の拝殿があり、内部に多くの「絵馬」飾られています。本殿は銅板葺の流れ造りで、屋根を支える二重折上の飾り組物の素晴らしさに見応えを感じます。この組物は、象鼻の受木や彫刻が多くの受升を飾ります。境内の摂社も優美で重厚な雰囲気を感じさせています。

一方、この神社の由来も素晴らしく、播磨国二宮「荒田神社」の分社として秋の大祭に「御旅騎馬武者行列」が行われます。その所以は、延暦の昔ここより、坂上田村麻呂将軍が奉幣使と7人の供を従えて二宮に参拝した事によると伝えられています。

この「歴史も風格もある神社」をぜひ訪れてみてください。

## アクセス



- 北はりま田園空間博物館 総合案内所へは
  - ・中国自動車道滝野・社インターからR175を北へ車で約20分
  - ・JR加古川線「日本へそ公園駅」から徒歩約20分
- 真言宗 金蔵山金蔵寺(多可町加美区的場853)へは
  - ・R175、野村東信号より西へ明楽寺町を経て北進21Km車で約35分
  - ・田園空間博物館より畑瀬橋信号西へR427を経て20Km車で約30分

## くわしくお知りになりたい方は

北はりま田園空間博物館発行「まるごとガイド」「北はりま魅力探訪紀行第1集」「でんくうガイドマップ」、または、ホームページをご覧ください。

## お問い合わせ

### NPO法人 北はりま田園空間博物館\*

北はりま  
田園空間  
博物館

〒677-0022 兵庫県西脇市寺内517-1  
TEL: 0795-25-2370 FAX: 0795-22-2123  
URL: <http://www.k-denku.com>  
E-mail: [jk@k-denku.com](mailto:jk@k-denku.com)

- ・営業時間: 9時~19時(11月~2月は9時~18時)
- ・年末年始以外無休

気軽に楽しめる半日コース No.3

# 金蔵山 金蔵寺周辺



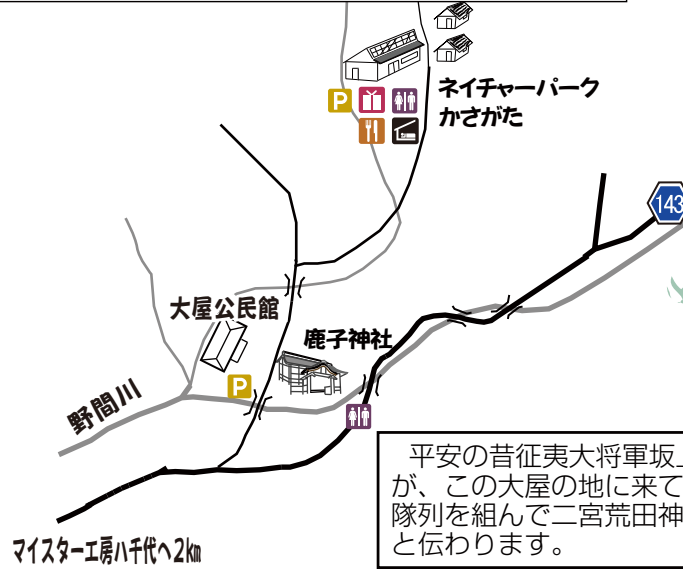
金蔵寺土砂加持法会(寺院持回りで九年に一度)

ぶらぶら探検マップ

北はりま田園空間博物館\*

笠形山  
標高 939m

金蔵寺表参道が少しきついと思われる方は、Bの金蔵寺案内石柱より庫裏前の駐車場まで車で駆けますので、四国 88 カ所巡りと、奥の院までの散策がおすすりめです。帰りには鹿子神社へ立寄ってはいかがでしょう。また、八千代区側からお越しの方は、マイスター工房八千代で巻寿司を買って、鹿子神社から金蔵寺へと進み、金蔵寺境内でお弁当をひろげては？



金蔵寺累代墓地  
手を合わせ、ふと目をやると  
古い元号が沢山読み取れます。



八千代区大屋「鹿子神社」



金蔵寺慈覚大師・行基菩薩・役行者  
を祀る奥の院 石像は蔵王権現

金蔵寺へは、A) かみ朝市南直売所駐車場より歩いて表参道でお参り、帰りには車で新松ヶ井の水公園の名水をお土産にいかがでしょうか。

※表参道、88カ所巡拝路には鹿害防止用ゲートが有りますが通過された後は元に戻して下さい。